

付録(3):[調査②-2]JOCV 海外教育経験教員対象－アンケート調査票

JOCV 海外教育経験教員の還元・貢献 経験教員に対するアンケート調査

一部の質問は、2007年実施の青年海外協力隊事務局によるアンケート調査でも聞かせていただいております。同アンケートにご協力いただいた方には、繰り返し回答いただくこととなりますが、今回の調査結果の分析をより正確にするために必要と考えておりますところ、何卒ご了承くださいませようお願いいたします。

【属性】

1-i. 現在の所属先はどこですか。

幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、

その他()

1-ii. 指導教科は何ですか。()

【参加動機】

2. 青年海外協力隊に参加した動機は何ですか。(複数回答可)

国際理解を深めるため、問題解決能力の向上を期待して、国際協力への参加

物の見方を変え、視野を広めるため、人生観、価値観、世界観を変えるため、

適応力や忍耐力などを向上させるため、人と知り合い人間関係を拡大させるため、

教員として総合能力を向上させるため(指導力、コミュニケーション能力など)、

教職に対するモチベーションを上げるため

所属先を越えた教員同士のネットワークの構築のため、

他の業種・分野の人とのつながりを作るため、

広い眼で学校教育を考えられるようになるため、

日本の教育の長所や短所を外から見て、それらが客観的に認識できるようになるため、

児童生徒を多角的かつ柔軟に見られるようになるため、

教育現場から離れた環境に身をおくため、

その他()

【制度認識と対応】

3. 参加の希望を申し出た時、学校長は現職教員特別参加制度を知っていましたか。

知っていた、知らなかった

4-i. 参加に当たり、職場の反応はどうでしたか。

協力的だった、比較的協力的だった、必ずしも協力的ではなかった、無関心だった、

その他()

4-ii. 4-i.の反応について、具体的な事例を上げてください。

例 1) 学校長が積極的に推薦してくれた、例 2) 代替教員の確保が難しいなどの人事ローテーションの問題で理解を得るのに苦労した。

4-iii. 4-i.で「必ずしも協力的ではなかった」とお答えの場合、参加のためにどのような対応をされましたか。

5. 帰国後元の学校に戻られましたか、それとも異動されましたか。

派遣前の学校に戻った, 新しい学校や機関に異動した

【ご自身の変化】

6-i. 協力隊に参加したことをどう思われますか。

参加して大変よかった, まあよかった, 参加しないほうがよかった

6-ii. ご自身にとってよかったといえる点は何ですか(複数回答可)

国際理解が深まった, 問題解決能力が向上した, 物の見方の変化・視野の拡大,

人生観, 価値観, 世界観が変わった, 適応力, 忍耐力など自身の意識向上, 交友関係等人間関係の拡大, 国際協力に携わることが出来た

その他()

6-iii. 教育現場にとってよかったといえる点は何ですか。(複数回答可)

教員として総合能力が向上した(指導力, コミュニケーション能力),

教職に対するモチベーションが上がった,

所属先を越えた教員同士のネットワークができた,

他の業種・分野の人とのつながりができた,

広い眼で学校教育を考えられるようになった,

日本の教育の長所や短所を再認識できた,

児童生徒を多角的かつ柔軟に見られるようになった,

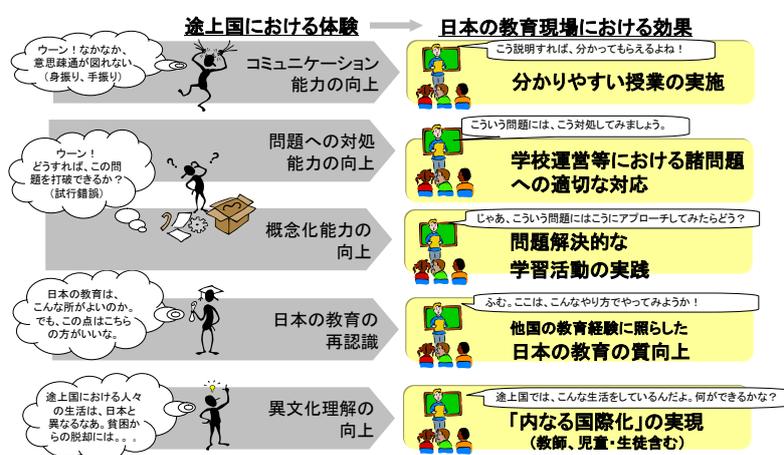
その他()

6-iv. 6-ii.及び 6-iii.で回答した内容について具体的な事例等があれば記述してください。

[]

現職の先生方が発展途上国において教育協力を実践されることが、日本の教育現場にも与える効果として次の5つが想定されています。(1)コミュニケーション能力が向上することにより、分かりやすい授業につながる。(2)問題への対処能力が向上することにより、学校運営などにおける諸問題への適切な対応が行える。(3)問題解決的な学習を構成する能力が向上し、その学習の実践が進む。(4)任国の教育との比較から、日本の教育の再認識が進み、他国の良い点を参考に日本の教育の質の向上に取り組める。(5)異文化理解が向上することにより、「内なる国際化」の実現に向けた取組が進む。それに関して質問

図：現職教員派遣の意義



7-i. 慣れない外国語での児童・生徒との意思疎通による授業運営の経験が、ご自身のコミュニケーション能

力の向上につながったと思われませんか。

つながった, つながっていない

7-ii. また, その体験は日本での分かりやすい授業の実施につながっていますか。

つながった, つながっていない

7-iii. 7-i. 及び 7-ii. で「つながった」とお答えの場合, 具体的な事例を記してください。

[]

8-i. あなたが学校で直面している課題は何ですか。

[]

8-ii. その課題の解決への取組に際して, JICA ボランティアに参加して得た経験は役立っていますか。

役立っている, 役立っていない

8-iii. 「役立っている」とお答えの場合, それは具体的にはどのように役立っていますか。

[]

9-i. 協力隊の経験は, ご自身が問題解決的な学習(自ら課題を見つけ, 自ら学び, 自ら考え, 主体的に判断し, よりよく問題を解決する資質や能力を育成する学習)を構成する能力の向上につながったと思われませんか。

つながったと思う, つながったと思わない

9-ii. 「つながったと思う」とお答えの場合, 協力隊の経験中の具体的に何がその能力の向上につながったと思われませんか。

[]

9-iii. 今現在, 問題解決的な学習の実践に, 以前より力を入れて取組んでおられますか。

取組んでいる, 取組んでいない

9-iv. 「取組んでいる」とお答えの場合, 具体的な事例を記してください。

[]

10-i. 日本と異なる国の教育現場を体験された結果, ご自身の中で日本の教育の良い点や悪い点の再認識が進んだと思われませんか。

進んだ, 進んでいない

10-ii.「進んだ」とお答えの場合, それは帰国後日本での教育の質向上につながる何らかの変化につながりましたか。

つながった, つながっていない

10-iii.「つながった」とお答えの場合, それは具体的にはどのようなものですか。

[]

11-i. 派遣国での経験によりご自分の中での異文化理解は進んだと思われますか。

進んだ, 進んでいない

11-ii. また, 帰国後にご自身の担任する児童・生徒, または同僚の先生方の異文化理解につながる取組はなされていますか。

している, していない

11-iii.「している」とお答えの場合, 具体的な事例を記してください。

[]

【派遣活動中の還元・貢献効果】

12-i. 現地での活動に日本国内の教育現場での経験は役立ちましたか。

とても役に立った, 部分的に役に立った, 役立たなかった, わからない

12-ii.「とても役に立った」, 「部分的に役に立った」とお答えの場合, どのような経験がどのような場面で役立ったか具体的な事例を上げてください。

[]

13-i. 現地での活動中, 派遣元の学校を含めて日本国内の学校等と交流を行いましたか。

行った, 行わなかった

13-ii.「行った」とお答えの場合, どこと交流をしましたか。(複数回答可)

派遣元の学校, 隊員経験者の存在する学校, その他()

13-iii.「行った」とお答えの場合, 具体的にはどのような活動を実施しましたか。(複数回答可)

授業中での児童・生徒同士の交流, 課外活動での児童・生徒同士の交流

インターネット授業, ニュースレター等の作成・情報発信,

手紙やメールのやりとり, その他()

14-i. 現地でのそのような活動中に, 日本からの支援があればよかったという点がありますか。

ある, ない

14-ii.「ある」とお答えの場合, 具体的にはどんな支援があればよかったか記してください。

[]

15. 13-i.で「行わなかった」とお答えの場合、その理由は何ですか。

- 派遣先の理解が得られなかった、日本の学校の協力が得られなかった、
必要性を感じなかった

【帰国後の還元・貢献効果：経験が活かされている・いない/活かされている場所】

16-i. 帰国後、学校教育の現場で派遣中の経験が活かされていますか。

- 活かされている、活かされていない、わからない

16-ii.「活かされている」とお答えの場合、それはどこで活かされていますか。(複数選択可)

- 担任するクラスで、学年全体で、学校全体で、
学校外で(市町村教委レベルで、都道府県教委レベルで、全国レベルで)

16-iii. それは具体的にはどのような役割あるいは活動ですか。

()

16-iv. 16-iii.の機会はどのようなアクターにより作られましたか。(複数選択可)

- 個人的に、校内分掌で/学校により、市町村教委により、都道府県教委により
JICA 関係者により、その他()

【帰国後の還元・貢献効果：学校内(授業)】

17-i. 帰国後、授業計画の中で、協力隊経験を取り入れた指導案を作成し、それに基づいて授業を行ったことがありますか。

- ある、ない

17-ii.「ある」とお答えの場合、協力隊経験を取り入れた授業を平成 20 年度にどの程度実施しましたか。
(時間/年)

※指導案を作成したと回答された方で指導案を参考に情報提供いただけるという方はそのコピーをアンケートと併せて送付ください。

18-i. 帰国後も派遣国の学校等と交流を行っていますか。

- 行っている、行っていない

18-ii.「行っている」とお答えの場合、具体的にはどのような活動を行っていますか。(複数回答可)

- 授業カリキュラムとして児童・生徒同士の交流を行っている、
インターネット授業、ニュースレター等の作成・情報発信、
課外活動として児童・生徒同士の交流を行っている、手紙やメールのやりとり、
個人的に、その他()

19-i. 帰国後、国際理解教育の推進を担当していますか。(複数回答可)

- 校務分掌で担当、教育委員会の指導主事として担当、担当していない
その他()

19-ii. 国際理解教育に活用している学校外部の仕組みはありますか。(複数回答可)

- JICA 出前講座、JICA エッセーコンテスト、外務省出前講座、外務省グローバル教育コンクール、NGO出前講座、その他()

20-i. 国際理解教育以外に、帰国後新たに力を入れ始めたものはありますか。(複数回答可)

- 教科指導(教科名:)
- 総合的な学習の時間(領域名:)
- 外国語活動, キャリア教育/進路指導, 在留外国人児童・生徒の学習指導,
- その他()

20-ii. 20-i.で回答いただいた内容について詳しく記してください。

[]

【帰国後の還元・貢献効果:学校内(授業以外)】

21-i. 授業以外で、学校内で協力隊の経験を活かして取り組んでいる活動がありますか。(複数回答可)

- 体験談などの報告, 修得語学を活かした活動(在留外国人児童・生徒や保護者対応),
- クラブ活動, 学校行事, ボランティア活動/奉仕活動, 学校運営・管理,
- その他()

21-ii. 21-i.で回答いただいた内容について詳しく記してください

[]

【帰国後の還元・貢献効果:学校外】

22-i. 学校外での協力隊の経験を活かして取り組んでいる活動がありますか。(複数回答可)

- 青年海外協力隊募集説明会, 出前講座講師, 帰国報告会, NGO・NPO活動/地域ボランティア活動, 教員ネットワーク, 教科研究会
- その他()

22-ii. 22-i.で回答いただいた内容について詳しく記してください

[]

23-i. 帰国後、派遣先で得た知見を整理、蓄積する取組を行っていますか(研究会の設置、大学院進学、論文や書籍の執筆など)。

- 行っている, 行っていない

23-ii.「行っている」とお答えの場合、具体的に記してください。

[]

【帰国後の還元・貢献効果:その他】

24. 帰国後に協力隊の経験を活かした活動を行っている方にお聞きします。学校側(学校長, 同僚教員等)は帰国後の取組についてどのように受け止めていると思いますか。

好意的, やや好意的, 特段のコメントはない, 否定的, 活動は行っていない
特筆すべき事例があれば記してください。

()

25-i. 今後, 協力隊の経験を活かした活動を計画していますか。

考えている, 考えていない

25-ii. 「考えている」とお答えの場合, 具体的にはどのような活動計画ですか。

()

25-iii. また, 活動する際に JICA や文部科学省等から何らかの支援を希望しますか。

希望する, 希望しない

25-iv. 「希望する」とお答えの場合, その内容について具体的に記してください。

()

26. 帰国後, 日本の教育現場への還元・貢献の活動がなかなか取組めていない方は, その要因は何ですか。

(複数選択可)

取組む時間がない, 現在の職務との関連性が見いだせない, 学校の方針に合わない

その他()

【海外ボランティア事業に関するイメージ(自由連想法調査, 刺激語:国際教育協力)】

27. みなさんが「国際教育協力」から連想する単語を5つあげてください。

- (1) _____
- (2) _____
- (3) _____
- (4) _____
- (5) _____

28. 最後に、現職教員特別参加制度に関して、JICA、文部科学省等にご要望があればご意見をお聞かせください。

[]

一部の方には詳細なインタビュー調査をさせていただきたいと希望します。
インタビューをお受けいただける方は、連絡先を記してください。

氏 名： _____

学 校 名： _____

学校住所： _____

電話番号： _____

ご協力ありがとうございました。